



新本っ子

学校通信 No. 1 4
令和 3 年 6 月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性を持ち、実践力のある子どもを育成する】 令和 3 年 6 月 2 8 日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

クイズや試食で赤米のことをもっと詳しく知ったよ！

～種子島、対馬の小学生とリモート交流～



6年生は25日（金）、対馬市立豆酩(つつ)小学校(長崎県)、南種子島町立荃南(けいなん)小学校(鹿児島県)の小学生と赤米リモート交流を行いました。これは、赤米を伝承している地域の小学生が、お互いの地域のことをもっとよく知ろうというめあてで行われたもので、交流には片岡聡一総社市長にも教室で一緒に参加していただきました。また、赤米大師の相川七瀬さんには特別講師としてリモートでご参加いただき、3つの地域の赤米伝統文化の違いや赤米の特徴について解説していただきました。

実際の交流ではクイズを通して、同じ赤米を使った神事や奉納にも地域によって違いがあること、そうした文化の違いにより栽培量(収穫量)にも違いがあること、地域による赤米の特徴(稲穂の色、稲の長さ、赤米の色の濃さ)などをうなずきながらとらえていました。また、宝満(ほうまん)神社(鹿児島)のご厚意による赤米の実食では、白米と赤米を食べ比べて予想や感想を出し合い、赤米の味やにおい、食感など(白米と比べ味が濃い、もちりしている、一粒の堅さを感じる等の感想)を他地域の小学生と共有しました。昔から大切に守り伝えられ、今ではご神米として捧げられている赤米を実際に食する貴重な体験をすることができました。

交流を通して、同じ伝統を継承している他地域の小学生と言葉を交わし、同じ体験をすることができたことは勿論、地域による赤米文化の違いこそあれ、赤米を大切に受け継いでいる人々の努力や願いは同じであるということを目と耳と心で感じる事ができたことは有意義であったと思います。交流に際しては、本市観光プロジェクト課を始めとする各市町行政の方々、各赤米保存会の皆様、各小学校の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



～早朝より 奉仕作業ありがとうございました !!～

27日(日)の奉仕作業では、早朝7時よりご参加いただき、誠にありがとうございました。お陰様で運動場周辺、義民社周辺・裏山、木村川周辺と広範囲にわたっての環境整備や点検を行うことができました。きれいになった環境で気持ちよく安全に学習や生活できる喜びを感じています。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



